

授業科目名	特別講義Ⅱ（企業経営実践学習）	大学名	帝京大学
科目区分	VU連携講座	開講時期	後期（10月24日～1月30日）
学部・学科等	経済学部地域経済学科	曜日	土曜日
必修・選択区分	各大学等で決定される	時限（時間）	3～4時限 （13時20分～16時45分）
標準対象年次	全学年	授業形態	講義・演習
単位数	2単位	授業会場	帝京大学ほか
担当教員名	島 裕		
電話番号（代表者名）	028-627-7252（島 裕）	e-mail アドレス	shima.hiroshi.uw@teikyo-u.ac.jp
オフィスアワー	特に設けず，e-mail や電話で予約を取ってから質問や相談に応じる。		
授業の概要	<p>&lt;授業の目標及びねらい&gt;</p> <p>グローバル化，技術革新，人口動態の変化などに伴い，地域経済社会はかつてない速度で構造転換を遂げており，従来の経営理論や枠組みだけでは対応しきれない局面が広がっています。こうした状況では，課題を発見・定義する洞察力，人間中心の視点から新たな価値を発想する創造力，そして社会実装へとつなげる構想力と実行力を総合的に涵養することが求められます。本講義は，社会人と学生の学び合いにより，経営理論と具体的な企業活動をつなぐ実践的学修を目指します。</p> <p>この講義の到達目標は次の3点です。①ケーススタディや現場見学を通じて企業の経営実態を把握し，その特徴を自らの言葉で説明できる。②経営理論と実践的な事例を関連づけ，事業戦略として成果物にまとめることができる。③グループワークでの協働作業において，議論や課題解決に主体的に参加できる。</p> <p>&lt;前提とする知識・経験&gt;</p> <p>特に必要なとしません。</p> <p>&lt;授業の具体的な進め方&gt;</p> <p>地域企業の経営幹部層と学生が協働チームを組成し，グループワークを通じて「新たな価値創造」と「持続可能な事業戦略」を検討します。最終成果として，グループでケース対象企業向けの新たなビジネスプランを策定し，その成果を公開の場で発表します。</p> <p>このプロセスを通じて，履修者は「知識の習得」と「実践的応用」の双方を深化させ，経営学的思考を社会課題の解決へと結びつける能力を修得します。社会人受講生にとってはイノベーション経営と技術経営の体系的理解を深める機会となり，学生にとっては具体的な企業課題に触れることで経営理論の実証的理解を深めることができます。</p> <p>&lt;授業計画&gt;</p> <p>隔週土曜日午後3・4限に講義とグループ演習を行います。</p> <p>第1週 デザイン思考／ブレインストーミング技法</p> <p>第2週 イノベーション経営のケーススタディ／外部環境分析</p> <p>第3週 内部環境分析／バリュー・プロポジションと技術戦略</p> <p>第4週 企業訪問</p> <p>第5週 人的資本投資と組織づくり／企業ミッションと個人パーパス</p> <p>第6週 ビジネスモデル・デザイン</p> <p>第7週 オープンイノベーション技法と目的工学</p> <p>第8週 最終発表</p> <p>&lt;教科書・参考書・教材と入手方法&gt;</p> <p>講義では教科書は使用しません。必要に応じて随時プリントを配布します。</p> <p>&lt;成績評価法&gt;</p> <p>グループワークによる演習課題（50%），グループワークにおける発言・応答（30%），プレゼンテーション（20%）を総合して評価します。なお，10コマ以上出席しないと評価対象としません（単位を取得できません）。</p> <p>&lt;教員からのメッセージ&gt;</p> <p>地域企業実務者と共にグループワークを行うことで，経営者の意思決定の視座を体験すると同時に，働くことの意義を改めて確認する場となります。学部学科を問わず，多様な専門性と好奇心を持つ学生諸君の参加を歓迎します。</p>		